

富岡北地区まちづくり協議会
とみきた会報

第10号

令和元年10月31日発行

ごあいさつ



日頃より当まちづくり活動に、ご参加・ご支援を下さりまして誠にありがとうございます。まちづくりはこの富岡に住む一人ひとりが主役の活動です。小さなお子さまから高齢者まで、住んで良かったと思う気さくにふれあえるまちづくりを目指して、すでに取り組んでいるもの、長期に取り組む必要があるものまでさまざまな計画を考えています。

富岡は豊かな自然・歴史文化に恵まれた地域です。住民が主体的・自主的に活動に参加することで、人と人とのつながりも深まり地域が元気になると思います。「みんなでつくろう！元氣あふれるまち富岡」

富岡北地区まちづくり協議会
会長 潮見 康雄

○総会開催（5月22日）富岡会館集会室

大熊会長に変わり、新しい会長に、2丁目の潮見が就任しました。出席者25名。委任状19名。計44名。



○出前講座・協働のまちづくりについて（6月4日）

現在、地区のまちづくり計画の策定が懸案となっているので、本年度役員を対象に、まちづくりアドバイザーの小川孝雄先生、協働のまちづくり課の佐藤主任主事に来館していただき、方法などのお話をうかがうと同時にワークショップをしました。

○ドロリンピック（6月15日）3丁目の田んぼ

準備はしていましたが、雷を伴う雨のため中止となりました。



○田んぼの生き物観察会（7月7日）3丁目の田んぼ

今年で3回目になりますが、毎回違った状況が現れます。今年は雨が降らず、オタマジャクシやセオイムシが見当たりませんでした。しかし、今年も理科の坂本先生が来て下さり、子供たちの採集したなかに、ヌマエビなど初めて聞く名前の生き物があることがわかり、意義ある行事となりました。参加者27名。



○出前講座・超高齢社会を全員で乗り切ろう（7月24日）富岡会館集会室



高齢社会を乗り切るためには、健康寿命を延ばすことが大切。男女とも健康寿命トップの山梨県では平均食事時間が長い、ボランティア活動などの社会活動が盛ん、という話がありました。百歳体操で足や腕の筋肉を鍛えることは効果的なようです。参加者18名。

○ラジオ体操（7月22日～26日、5日間）富岡会館前広場

今年も朝のすがすがしい空気を吸いながら、若い人たちからエネルギーをいただき、楽しい多世代間交流ができました。最終日には出席日数に応じてご褒美ができました。参加者延べ217名。



○ソーメン流し（8月4日）富岡会館前広場

今まで竹の準備が大変でしたので、今年は、流しソーメン用のプラスチック製青竹を購入しました。にぎやかに食べていた子供たちは笠岡放送のインタビューに元気よく答えていました。皆様のご協力で今年も盛況でした。参加者51名。



○ふるさと富岡文化講座（8月18日）富岡会館集会室

ご高齢でも活動を続けておられる土屋圭示さんに、原爆の恐ろしさについてお話いただきました。被爆して苦しんでいる方々は今でもおられ、核なき世界は戦後74年経っても実現せず、お隣の国でも次々に新しいミサイルが開発され危機はまだ去っていないことを痛感しました。参加者16名。



○まちづくり協議会意見交換会（9月6日）市民会館第1会議室

金浦、陶山地区と一緒にグループになりました。どちらの役員も平成24年開始以前からまちづくりに携わっており、地についた活動をされているようでした。富岡北地区はまだまだこれからという感じを受けました。参加者2名。

